

市町村名	与那国町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－①	地域振興対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(12)－ア		
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	既存の観光イベントの参加促進と、他の体験型観光メニューとの連携を図り、かつ、各種広報媒体等による「情報発信」体制を構築し、観光客のニーズを十分に考慮した滞在型観光地であることの周知により観光客等の誘客と滞在時間の長期化を促進した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,700					
		(b) 予算現額	4,640					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 4,060					
		(d) 前年度繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	4,640					
	B. 執行済額		4,640					
	うち交付金充当額		3,712					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初計画していたカジキ釣り大会の打ち上げ花火が実施できなかったため事業費が減となった、しかし、その他の事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	①カジキ釣り大会の実施	目 標	(カジキ釣り大会の実施)	()	()	()		
		実 績	カジキ釣り大会の実施					
	②一周マラソン大会の実施	目 標	(一周マラソン大会の実施)	()	()	()		
		実 績	一周マラソン大会の実施					
達成状況説明	①日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会及び「与那国島一周マラソン大会」において、これまでに無かった各種イベント及びアトラクション等を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	①カジキ釣り大会の参加者数	目 標	(①82人)	(①83人)	()	()	()	
		実 績		①83人				
	②一周マラソン大会の参加者数	目 標	(②357人)	(②459人)	()	()	()	
		実 績		②459人				
	進捗状況説明	「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「与那国島一周マラソン大会」において、これまでに無かった各種イベント及びアトラクション等を実施したことにより、既存イベントの参加促進と、観光客等の誘致と滞在時間の長期化を促進することができた。						

市町村名	与那国町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-②	海水浴施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
						Ⅲ-1-(1)		
事業内容	島内にある海水浴場に、観光地として相応した景観に配慮した公衆トイレ及び足洗い場等の新規公共施設等を整備することにより、利用者の利便性向上及び地域の衛生・景観の向上、観光振興を実施した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	20,259					
		(b) 予算現額	15,001					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 5,258					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	15,001					
	B. 執行済額		15,001					
	うち交付金充当額		12,000					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		減額が5,258千円発生しているが、入れ残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	ナンタ浜公衆用トイレの実施設計及び設置工事	目 標	（ 実施設計及び設置工事 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	実施設計及び設置工事					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	ナンタ浜公衆用トイレの実施設計、外溝工事、建築工事、設備工事、電気工事の実施し、鉄筋コンクリート造平家建(23.98㎡)の建物を整備を行ったことにより、利用者の利便性向上及び地域の衛生・景観の向上が図られた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	ナンタ浜公衆用トイレ建設	目 標	（ ）	（ 1 棟 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		1 棟				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	鉄筋コンクリート造平家建(23.98㎡)のナンタ浜公衆用トイレを建設し、平成25年4月より供用開始をした。これによって、利用者の利便性向上及び地域の衛生・景観の向上が図られた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・観光地として安全性・景観等を考慮して実施設計をおこなったが、設置場所の選定に関係機関との事務調整及び地域住民への説明が必要となった。	・関係機関との事務調整及び住民への設置場所に説明等を行い、多くの関係者に事業内容を周知すると共に、地域住民の意見を徴収し実施設計等に反映させ、住民と行政と協力し魅力的な観光地整備を推進する必要がある。
今後の取り組み方針		
より多くの観光客等、及び町民や関係者等に周知拡大し、利用者の利便性向上及び住民や観光客等が安心して利用できる観光地整備計画を推進することで、通年を通して適切な維持管理を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,001</td><td>15,001</td><td>12,000</td><td>3,001</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	15,001	15,001	12,000	3,001	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
15,001	15,001	12,000	3,001	0										
与那国町 15,001千円 委託料 1,575千円 → 株式会社 城建 1,575千円 (ナント浜公衆用トイレにかかる委託業務) 工事費 13,426千円 → 米元建設工業株式会社 13,426千円 (ナント浜公衆用トイレに係る建設工事費)														
資金の流 点検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者及び工事請負業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		与那国町						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		1－④ 与那国町観光振興計画事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章－3－(12)－ア	
担当部課名		総務財政課 企画班		事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 Ⅲ－1－(1)	
事業内容		与那国町全体の課題解決のスキームとなること、島内の観光資源のネットワーク化を図り利用を促進すること、与那国独自の自然資源や伝統文化を適切に守ることを基本方針とし、観光産業を主体として地域全体の活性化につながる「与那国町観光振興計画」を策定した。						
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		予算の状況	(a) 当初予算額	8,662				
			(b) 予算現額	8,190				
			(c) 増減額 (b-a)	▲ 472				
			(d) 前年度繰越額	－				
			A. 計 (b+d)	8,190				
		B. 執行済額		8,190				
		うち交付金充当額		6,552				
		次年度繰越額		0				
		執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・減額が472千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		与那国町観光振興計画の策定	目 標	(振興計画の策定)	()	()	()	
			実 績	振興計画の策定				
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成状況説明	現況調査として、「観光に関するデータの整理」「与那国の観光資源」「関連計画の整理」について整理すると共に、島内外の観光関連主体及び住民に対するヒアリング調査及び離島フェアにおけるアンケートを実施し、「観光業を取り巻く課題・問題点」について全般的な傾向と、詳細な内容について把握を行った。加えて、「島内で観光振興・特産物開発などの分野で様々な活動を実際に行っている方々」を中心としたメンバーによるワーキンググループを組織し計3回開催した。その結果を踏まえ、観光振興に必要な施策に加え優先的に取り組むべき重点プロジェクトを策定し、与那国町観光振興計画としてとりまとめた。							
成果目標(指標)及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		与那国町観光振興計画の策定	目 標	()	(振興計画の策定)	()	()	()
			実 績		振興計画の策定			
		【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
			実 績					
		進捗状況説明	与那国町観光振興計画の他、観光振興計画を基に概要版を作成し共に公表を行った。また、観光振興計画で重点プロジェクトに位置づけられている「与那国いとなみネットワーク」については、任意団体として設立し、現在組織としての体制づくりを行うと共に活動を始めている。また、その他の重点プロジェクトである「与那国いとなみ大学」については、H25年度沖縄振興特別推進交付金事業として申請を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)													
	(1)観光振興計画等の公表の手法に関して ・公表は町内の各施設で閲覧を実施しているが、閲覧機会が施設の開館時間等に制約されるため限定的。 ・内容をより多くの人に周知するためには閲覧機会の拡大を図る必要がある。	(1)公表手法改善の必要性 より多くの住民に観光振興計画の内容を周知すると共に、島外の広い範囲へ向けての情報発信を行う必要がある。情報を受け取った人数の把握を行い、策定した観光振興計画の公表効果についても把握する必要がある。													
	(2)観光振興計画の実現へ向けた課題について 観光振興計画を実現するためには、島全体が一体となった取り組みの推進と観光振興にかかわる人材育成が重要である。そのためには、重点プロジェクトである「与那国いとなみネットワーク」の継続的且つ安定的な運営と活動が必要で有ると共に、活動に対して多くの賛同を得ることが必要となる。	(2)観光振興計画の実現へ向けた取り組みの必要性 「与那国いとなみネットワーク」では、島内外に対して活動内容の周知を図り、より多くの賛同者を得る。また、運営体制、事業プロセス・活動内容の透明化を図り、町民自らが運営の担い手として参画しやすい組織とし、人材資源の確保を図ると共に、運営に必要な資金についての確保を図る。													
今後の取り組み方針															
(1)公表手法の改善へ向けた取り組み ・町HPでの公表に加え、「広報よなぐに」による閲覧場所や方法の周知、機会ある毎に郷有会やふるさと納税者などへの周知を行う。 ・閲覧者数などを集計し、周知状況や計画に関する関心の程度を把握し、今後の計画見直し等に資する基礎資料として整理を行う。 (2)観光振興計画の具体的な取り組み方針 ・「与那国いとなみネットワーク」に関しては、一般社団法人化を図ることにより運営と事業の透明性を図ると共に、活動理念や内容等について島内外への情報発信し賛同者の増加を図る。併せて、各種助成金の活用や民間企業からの支援や業務の受託、町内に設置された基金等からの支援等を検討し運営資金の確保を図る。 ・「与那国いとなみ大学」に関しては、本年予定されている各講座のプログラムを実施し、学習と交流を進める。															
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)															
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>8,190</td><td>8,190</td><td>6,552</td><td>1,638</td><td>0</td></tr></table> 与那国町 8,190千円 委託料 8,190千円 株式会社 水圏科学コンサルタント 8,190千円 与那国町観光振興計画策定業務にかかる委託業務						総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,190	8,190	6,552	1,638	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費											
8,190	8,190	6,552	1,638	0											
資金使途の流れ、点検・費目・評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。													
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

市町村名	与那国町						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	サンニヌ台景勝地整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施 (予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	観光リゾート産業の振興	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本事業では、崖の崩落および塩害により危険な状態のサンニヌ台の展望台と遊歩道を更新し、利便性と安全性が確保された景勝地を提供することで、より多くの観光客が安心して利用できる環境を整えた。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	26,437				
		(b) 予算現額	4,738				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 21,699				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	4,738				
	B. 執行済額		4,738				
	うち交付金充当額		3,790				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・事業行程の見直しにより当初計画していた工事について次年度の実施としたことから、21,699千円の減額が発生したものであり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	サンニヌ台景勝地整備実施設計の実施 不動産鑑定の実施	目 標	実施設計の実施 (不動産鑑定の実 施)	()	()	()	
		実 績	実施設計の実施 不動産鑑定の実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状 況 説 明	サンニヌ台景勝地整備委託業務及び不動産鑑定業務を実施し、現況調査・測量成果簿・実施設計書・設計図面等・不動産鑑定書、平成25年度施工に必要な関係書類の成果を得た。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	サンニヌ台景勝地整備実施設計の実施 不動産鑑定の実施	目 標	()	実施設計の実施 不動産鑑定の実 施)	()	()	()
		実 績		実施設計の実施 不動産鑑定の実施			
	【参考指標】		目 標	()	()	()	()
			実 績				
	進 捗 状 況 説 明	サンニヌ台景勝地整備委託業務及び不動産鑑定業務を実施し、平成25年度施工及び用地取得に向け受益者及び関係機関へ事業内容の説明を行い工事着手を進めている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観光地として安全性及び景観等を考慮して実施設計をおこなったが、遊歩道の選定や東屋の位置、規模決定から構造計算の内容まで全体的に行政機関のみで決定していた。	多くの関係者に事業内容を周知すると共に、地域住民の意見を徴収し実施設計等に反映させ、住民と行政と協力し魅力的な観光地整備を推進する必要がある。
今後の取り組み方針		
より多くの町民や関係者等に周知拡大し、利便性と安全性が確保するためにも積極的に多くの意見を取り入れ、住民や観光客が安心して利用できる観光地整備計画を推進することで、通年を通して適切な維持管理を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
与那国町 4,738千円 委託料 4,738千円 アート技研 株式会社 4,463千円 有限会社 国土鑑定センター 275千円 （サンニヌ台観光地整備に係る委託業務） （サンニヌ台観光地用地取得に係る委託業務）				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,738	4,738	3,790	948	0
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費用・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	与那国町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－⑥	久部良バリ観光地駐車場整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(12)－ア			
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興			
					Ⅲ－1－(1)			
事業内容	本事業では、久部良バリへのアクセス路および駐車場の整備を実施し、利便性と安全性が確保された景勝地を提供することで、より多くの観光客が安心して利用できる環境を整えた。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	28,056					
		(b) 予算現額	3,045					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 25,011					
		(d) 前年度繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	3,045					
	B. 執行済額		3,045					
	うち交付金充当額		2,436					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・事業行程の見直しにより当初計画していた工事について次年度の実施としたことから、25,011千円の減額が発生したものであり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	久部良バリ観光地駐車場整備の実施設計の実施	目 標	(実施設計の実施)	()	()	()		
		実 績	実施設計の実施					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	久部良バリ駐車場整備委託業務実施し、現況調査・測量成果簿・実施設計書・設計図面等、平成25年度施工に必要な関係書類の成果を得た。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	久部良バリ観光地駐車場整備着手	目 標	()	(駐車場整備着手)	()	()	()	
		実 績		駐車場整備着手				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	久部良バリ駐車場整備委託業務実施し、平成25年度施工に向け受益者及び関係機関へ事業内容の説明を行い工事着手を進めている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観光地として安全性及び景観等を考慮して実施設計をおこなったが、路線や駐車場の位置決定から構造計算の内容まで全体的に行政機関のみで決定していた。	多くの関係者に事業内容を周知すると共に、地域住民の意見を徴収し実施設計等に反映させ、住民と行政と協力し魅力的な観光地整備を推進する必要がある。
今後の取り組み方針		
より多くの町民や関係者等に周知拡大し、利便性と安全性が確保するためにも積極的に多くの意見を取り入れ、住民や観光客が安心して利用できる観光地整備計画を推進することで、通年を通して適切な維持管理を行っていく。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
与那国町 3,045千円 委託料 3,045千円 → アート技研 株式会社 3,045千円 〔久部良バリ観光地駐車場整備にかかる委託業務〕				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		3,045	3,045	2,436
				市町村負担金
				609
				交付対象外経費
				0
資金の流	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
使途の流	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費用・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	与那国町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2	農水産業活性化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－カ		
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯・島しょ性に適合した農水産業の基盤整備		
						Ⅲ－1－(6)		
事業内容	安定した農業生産基盤を構築するため、農業用水を年間を通して確保するため池及びかんがい排水施設の整備、生産効率を向上させる近代生産施設の導入、輸送時の品質低下を防ぐ簡易農道(石粉道路)の表層舗装と町道・農道の雑木伐採を実施した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	20,000					
		(b) 予算現額	34,000					
		(c) 増減額 (b-a)	14,000					
		(d) 前年度繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	34,000					
	B. 執行済額		34,000					
	うち交付金充当額		27,200					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・増額が14,000千円発生しているが、当初計画していた委託業務内容(磁気探査調査の追加)の変更に伴う増額であり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	農業用水さく井調査	目 標	(4箇所)	()	()	()		
		実 績	4箇所					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	農業用水さく井調査業務を実施し、かんがい排水が整備され、稲作に必要な不可欠な農業用水が確保された。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	農業用水さく井調査	目 標	()	(4箇所)	()	()	()	
		実 績		4箇所				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	稲作に必要な不可欠な農業用水が確保され、農家負担の軽減及び農家所得の安定が図られる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・農業用水さく井調査業務を実施し、かんがい排水が整備され、稲作に必要な不可欠な農業用水が確保されたことで、稲作の生産性向上及び農家負担の軽減・農家所得向上が図られる。	・かんがい排水が整備が実施されたことにより、安定した農業生産基盤を構築が図られ、年間を通じた農業用水の確保を保たれ、生産効率を向上及び農家の負担が軽減させるることにより、本町の主要農産品である水稻の生産性・品質を向上させ、農家所得の増加を図る。
今後の取り組み方針		
かんがい排水の整備が実施されたことにより、農作物の生産性・品質を向上及び農家所得の増加を図り、農業の活性化と島の活力を維持・推進すると共に、通年を通して適切な維持管理を行っていく。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
与那国町 34,000千円 委託料 34,000千円 株式会社 シビルエンジニアリング 19,950千円 株式会社 シビルエンジニアリング 14,050千円 かんがい排水施設整備委託(比川・満田原地区地質調査等)に係る委託業務 かんがい排水施設整備委託(比川・満田原地区地質調査等)2工区に係る委託業務				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		34,000	34,000	0
		交付金充当額	市町村負担金	
		27,200	6,800	
資金の流	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
使途の流	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
点検	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
費目・	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
評価	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		与那国町											
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】													
事業番号・事業名		3－①		家庭学習支援モデル事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章－3－(11)－イ					
担当部課名		総務財政課 企画班		事業実施(予定)年度		平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所					
								Ⅲ－3－(1)					
事業内容		U・Iターンを阻害する要因である中央との教育環境の格差を解消し、人口の増加と地域の活性化を担う人材の育成を図るため、小中学生を対象とした家庭学習支援としてWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設した。											
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）											
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
		予算の状況	(a) 当初予算額	11,508									
			(b) 予算現額	11,508									
			(c) 増減額 (b-a)	0									
			(d) 前年度繰越額	－									
			A. 計 (b+d)	11,508									
		B. 執行済額		8,090									
		うち交付金充当額		6,472									
		次年度繰越額		0									
		執行率（％）(B/A)		70.3%									
予算の状況の説明		執行率が70.3%と低いことは、本事業の事業着手が4月より実施しており、交付金の対象始期が6月29日のため補助対象期間が9ヶ月間となったため執行率が低下した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。											
活動目標（指標）及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況									
				24年度		25年度		26年度		27年度			
		町営学習塾の実施	目 標	(町営学習塾の実施)		()		()		()			
			実 績	町営学習塾の実施									
			目 標	()		()		()		()			
			実 績										
達成状況説明	小中学生を対象とする家庭学習支援のため、既存の公共施設に設置されているWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を実施した。また、授業については現役東大生を講師とし、日本最高峰の学びを与那国の子供たちへ提供することにより、単に知識のみでなく、勉強の方法や学ぶ姿勢を身につける場を提供し、教育環境の大きい離島の地において、中央と同じ授業を受けることが可能な環境を整えた。												
成果目標（指標）及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値（年度）		24年度		25年度		26年度		目標値（28年度）	
		学習塾受講率	目 標	()		(学習塾受講率（中学生）60%（小学生）51%)		()		()		(学習塾受講率 80%)	
			実 績			学習塾受講率（中学生）60%（小学生）51%							
			目 標	()		()		()		()		()	
			実 績										
		進捗状況説明	与那国町家庭学習支援モデル事業の実施により、教育環境格差の大きい本町の児童生徒の半数以上が学習塾を受講し、勉強の方法や学ぶ姿勢を身につけ学力向上に繋がっている。										

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(1)小学生 授業内容についてアンケートを実施し、小学校5,6年生から良いアンケート結果が得られた一方、小学4年生からは良くないアンケート結果があった。これは、生徒が授業において集中していないことがあり、より厳しくする方針を採用したが、急な対応の変化に生徒の一部に戸惑いが見られ、今後その対策が必要である。 (2)中学生 中学生からのアンケート結果は良好であった。2年目の受講となった生徒たちにとってはオンライン授業がより身近なものになり、円滑に授業を進めることができたことも一因になっていると思われる。	(1)小学生 小学生に対しては、講師の授業力向上のための勉強会実施し、生徒ごとに合わせた対応を検討する。また、今後発生する問題に対しても講師間の情報共有をスムーズに行い、講師全体で解決していく必要がある。 (2)中学生 中学生に対しては、少しずつではあるが、オンライン授業における講師の質・レベルも経験の積み重ねとともに向上している。
今後の取り組み方針		
「国境」の「孤島」である与那国島に安心して住み続けるために必要な教育環境の格差是正と、国際交流を通じて地域文化を見つめ直す機会を提供することにより、町の将来を担う人材を育成し、将来の人口の増加と地域の活性化を図るため、本事業を継続的に続けて行く。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,508</td><td>8,090</td><td>6,472</td><td>1,618</td><td>3,418</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,508	8,090	6,472	1,618	3,418
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,508	8,090	6,472	1,618	3,418										
<pre> graph LR A[与那国町 11,508千円] --> B[委託料 11,508千円 (うち交付対象外経費 3,418千円)] B --> C[株式会社 フィオレ・コネクション 東大NETアカデミー 11,508千円] C --> D[与那国町家庭学習支援モデル事業にかかる委託業務] </pre>														
資金の流 点検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企業組織、実績、知識等を勘案した上、随意契約方式によりで選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	教育諸活動助成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施（予定）年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	町内の児童生徒の各種大会派遣費（航空運賃等）を助成することにより、子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮する機会を提供する。この住民負担の軽減により、貴重な経験を得ることができる機会をより多く提供し、本町の未来を拓く子供たちの能力向上を実施した。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a) 当初予算額	6,140				
		(b) 予算現額	4,925				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,215				
		(d) 前年度繰越額	—				
	B. 執行済額	A. 計 (b+d)	4,925				
		うち交付金充当額	3,940				
		次年度繰越額	0				
	執行率（％）(B/A)	100.0%					
	予算の状況の説明	・減額が1,215千円発生しているが、当初計画していた一部大会等に派遣できなかったため減額であり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	各種大会派遣人数	目 標	(350人)	()	()	()	
		実 績	376人				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	町内5校の児童生徒を各種大会へ派遣するため、渡航費等の費用の助成を実施した。また、与那国に住む子供たちが持つ多様な効力・才能を発揮する機会を提供した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
	各種大会派遣人数	目 標	(400人)	(350人)	()	()	(延べ派遣人数 2,000人)
		実 績		376人			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	各種大会への派遣に係る渡航費助成の実施により、376人の児童生徒が貴重な経験を得ることができる機会をより多く提供し、本町の未来を拓く子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮する場を提供した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・児童生徒の各種大会派遣費(航空運賃等)を助成を実施したことで、これまで以上に子供たちが、より多くの大会、及び発表の場に参加することになり、子供たちの成長に繋がった。また、これまで保護者の大きな負担となっていた各種大会派遣費等の負担が軽減された。	・今回、各種大会派費の助成を実施したことで、今まで経済的負担により、各種大会等に参加がたなどの問題が解消されことにより、子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮する機会を提供し、本町の未来を拓く子供たちの能力向上が図られる。
今後の取り組み方針		
町内の児童生徒の各種大会派遣費(航空運賃等)を助成を維持することにより、中央との教育環境の解消、教育諸活動の経済的負担軽減が図られ、島嶼地区が抱える児童生徒に対する適切な教育支援を継続的にやっていく。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
与那国町 4,925千円 補助金 4,925千円 町内小中学校(5校)各種大会等派遣助成金 4,925千円 各種大会等派遣費にかかる助成金				
		総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額 市町村 負担金 交付対象 外経費
		4,925	4,925	3,940 985 0
資金 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○児童生徒派遣費等補助金申請より、派遣大会及び派遣対象児童を確認の上で決定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	与那国町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-③	地域国際交流事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-オ		
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施（予定）年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交流と貢献による離島の新たな振興		
事業内容	本事業では、本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学生のホームステイを行い、島の次世代を担う少年少女に異文化交流と体験学習を深めることにより、国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材を育成を図った。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,980					
		(b) 予算現額	2,909					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 71					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	2,909					
	B. 執行済額		2,909					
	うち交付金充当額		2,327					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・減額が71千円発生しているが、委託費の入札残額によりものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	台湾「花蓮市」へホームステイの実施	目 標	(15人)	()	()	()		
		実 績	15人					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学生のホームステイを実施した。また、島の次世代を担う子供たちに異文化交流と体験学習を深めることにより、国際的な広い視野と高めることが出来た。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）	
	台湾「花蓮市」へホームステイ生徒数	目 標	()	(15人)	()	()	派遣生徒数 60人	
		実 績		15人				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	台湾・花蓮市への小学生のホームステイの実施により、15人の子供たちが国際交流を通して地域文化を見つめ直し、異文化交の体験学習を深め国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材の育成を行っている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・ホームステイで得られる国際感覚と高い語学力の基礎的経験を得るため、ホームステイ期間中のイベントのみではなく、ホストファミリーとのふれあう時間の充実などについて検討が必要である。 ・ホームステイで得られる異文化交流の深化を図るため、ホームステイで派遣される少年少女自らが伝える「地域が持つ伝統文化や芸能」の充実などが必要である。	・ホストファミリー側の満足度を高める工夫についても考慮し、本町の少年少女がホームステイで得られる経験をより良くする。 ・普段の生活の中で与那国の持つ伝統文化や伝統芸能などに子供たちが多く触れる機会を意識して設けると共に、ホームステイへの派遣前に集中期間を設けるなど、子供たちからがホームステイ先へ伝える「異文化」の充実を図る。
今後の取り組み方針		
・H25年度も引き続きホームステイを実施し、島の次世代を担う少年少女に異文化交流と体験学習を深めると共に、国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材育成を図る。 ・ホームステイを終了した小学生を対象に、ホームステイ前後で生じた自らの変化などについて話し合う機会を設け、次年度以降のホームステイの内容や事前の活動に反映し、より効果的な内容とする取り組みを推進する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>2,909</td><td>2,909</td><td>2,327</td><td>582</td><td>0</td></tr></table> 与那国町 2,909千円 委託料 2,909千円 株式会社 中央ツーリスト 2,909千円 〔平成24年度台湾花蓮県小学校 等交流事業にかかる委託業務〕					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	2,909	2,909	2,327	582	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
2,909	2,909	2,327	582	0										
資金 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は随意契約方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		与那国町											
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】													
事業番号・事業名		6－②		少子高齢化対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章－3－(11)－イ					
担当部課名		総務財政課 企画班		事業実施(予定)年度		平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所					
								生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上					
								Ⅲ－4－(1)					
事業内容		本町の医療機関には、産婦人科を含めた各専門医がいない。本事業では、妊娠から出産までに必要となる専門医による島外診療を受けるために必要な渡航費等の費用の補助を行った。											
実施方法		□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）											
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
		予算の状況	(a) 当初予算額	1,233									
			(b) 予算現額	1,225									
			(c) 増減額 (b-a)	▲ 8									
			(d) 前年度繰越額	－									
			A. 計 (b+d)	1,225									
		B. 執行済額		1,200									
		うち交付金充当額		960									
		次年度繰越額		0									
		執行率（％）(B/A)		98.0%									
予算の状況の説明		・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。											
活動目標（指標）及び達成状況		H24活動目標（指標）		達成状況									
				24年度		25年度		26年度		27年度			
		島外診察のための渡航費補助	目 標	(渡航費補助)		()		()		()			
			実 績	渡航費補助									
			目 標	()		()		()		()			
			実 績										
達成状況説明		出産のために専門医に係る島外診察を受けるため、妊娠から出産までに必要となる渡航費等の費用の補助を実施した。また、出産を含む専門的な医療を受ける際にも石垣等の島外に移動する必要があるため、住民の医療全般に係る負担の軽減が出来た。											
成果目標（指標）及び進捗状況		H24成果目標（指標）		基準値(23年度)		24年度		25年度		26年度		目標値(年度)	
		妊産婦一人当たり受診回数	目 標	(4回)		(8回)		()		()		()	
			実 績			8回							
		【参考指標】	目 標	()		()		()		()		()	
			実 績										
		進捗状況説明		島外診察のための渡航費補助の実施により、19人が妊娠から出産に係る渡航費等の負担軽減が図られ、安心して子どもを産み育てるための環境整備に寄与した。									

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・妊娠から出産に係る渡航費等の助成を実施したことで、これまで出産に係る渡航費等の負担が軽減され、安心して子供を産み育てる環境の整備が整えられたが、36週以降の妊婦について、出産に備えて沖縄本島で待機する場合の費用については対象となっておらず、検討の余地がある。	・今回、妊娠から出産に係る渡航費等の助成を実施したことで、今まで大きな経済的負担となっていた出産に係る渡航費等が軽減されたことで、住民が抱える医療への経済的・心理的負担の軽減が図られた。 36週以降の妊婦について、出産に備えて沖縄本島で待機する場合の費用について、町全体の事業計画等も鑑みて検証する必要がある。
今後の取り組み方針		
今後も妊娠から出産ため島外診療に必要とする渡航費等への助成を継続的に実施し、住民が抱える医療への経済的・心理的負担の軽減を図り、安心して子育てを産み・育て・世代を超えて住み続けるために継続して実施していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
与那国町 1,200千円 補助金 1,200千円 平成24年度妊婦・出産 旅費助成金 1,200千円 妊婦・出産旅費にかかる助成金 受益者負担分 (交付対象外経費) 25千円														
		<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>1,225</td><td>1,200</td><td>960</td><td>240</td><td>25</td></tr> </table>	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	1,225	1,200	960	240	25		
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
1,225	1,200	960	240	25										
資金 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○妊産婦通院費助成金交付申請より、対象者及び実績を確認の上で決定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	公共交通路線支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施（予定）年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-9-(1)	
事業内容	本町の公共交通は、集落間を結ぶ生活路線バスのみであり、人口規模の小さな本町では、運賃のみで路線を維持することは困難である。地方バス運営に必要な費用を支援することにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住条件整備と来島者の利便性向上を図った。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a) 当初予算額	3,000				
		(b) 予算現額	1,750				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,250				
		(d) 前年度繰越額	—				
	B. 執行済額	A. 計 (b+d)	1,750				
		うち交付金充当額	1,400				
		次年度繰越額	0				
	執行率（％）(B/A)	100.0%					
	予算の状況の説明	・減額が1,250千円発生しているが、本事業の事業着手が4月より実施しており、交付金の対象始期が9月4日のため補助対象期間が7ヶ月間となったため減額が生じた。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	公共交通路線バス運行の実施	目 標	（ 路線バス運行実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	路線バス運行実施				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	公共交通路線バスの安定的な運航を維持し、定住するための必要な条件整備をすると共に、観光客等及び地域住民の利便性向上をはかり、住民が定住し続けるために必要な社会生活基盤の維持が実施し出来た。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	公共交通路線バス運行便数	目 標	（ ）	（ 2,556便/年 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		2,556便/年			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	公共交通路線バス運行の実施により、年間2,556便の路線バスの安定的な運航を維持し、運転が困難な高齢者や園児児童生徒及び来島者の利便性向上を図った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・人口規模が約1,600人と小さな本町では、運賃のみで路線を維持することは困難であることが改めて明らかとなった。 ・上記のことは、車輛など設備の更新が必要となった場合、更なる支援なしに生活路線の安定的な運航が難しいことが示唆される。 ・外部環境の変化として、JTAの撤退とRACの増発により、バスの運行と航空機の到着出発の時間帯にずれが生じている。	・利用者の増加を図り、運賃収入の増加を図る必要がある。 ・バスの運行時間や便数、路線の見直しにより、利用者の利便性改善が見込まれる。
今後の取り組み方針		
・利用者数の増加を図るため、「広報よなぐに」をはじめ、空港や宿泊施設、飲食店など、機会ある毎に公共交通機関であり生活路線でもある定期バスの利用を呼びかける。 ・バスの運行時間や路線などを検討し、島内外を含めた利用者の利便性向上を図る。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,000</td><td>1,750</td><td>1,400</td><td>350</td><td>1,250</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,000	1,750	1,400	350	1,250
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,000	1,750	1,400	350	1,250										
与那国町 3,000 千円 委託料 3,000千円 〔うち交付対象外経費 1,250千円〕 最西端観光 株式会社 3,000千円 〔与那国町生活路線バスにかか る委託業務〕														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は随意契約方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-②	風景づくり推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア			
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化			
					Ⅲ-9-(1)			
事業内容	本町に残る豊かな自然と伝統を維持し、与那国らしさを残しつつ魅力的なまちづくりを行うための「与那国町景観計画」及び、各集落の古民家及び現在は使用されていない町有施設等を有効利用するための「与那国町古民家再生事業計画」を策定した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,723					
		(b) 予算現額	9,345					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 378					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	9,345					
	B. 執行済額		9,345					
	うち交付金充当額		7,476					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・減額が378千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	景観計画の策定	目 標	(事業計画策定)	()	()	()		
		実 績	事業計画策定					
	古民家再生計画の策定	目 標	(事業計画策定)	()	()	()		
		実 績	事業計画策定					
達成状況説明	(1)景観計画 町民意見の募集を行い準景観地区住民の意向を把握し、与那国町景観計画祖納地区準景観地区の指定(案)の策定を行うとともに、与那国町景観計画の基準等について解説した与那国町景観計画ガイドラインの作成を行った。 (2)古民家再生計画 関連する計画や上位計画との整合を図り、本事業計画の位置付けを明確にした。これを受け本事業では、与那国島における潜在的な古民家の現状とともに、各集落における祭事との関連等を把握することで、活用する施策メニューを整理し目標を明確にすること、先導的モデル事業が目指す機能、基本構想を検討し、課題の分析を行うことで古民家再生事業計画を策定した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	景観計画の策定	目 標	()	(事業計画の策定)	()	()	()	
		実 績		事業計画の策定				
	古民家再生計画の策定	目 標	()	(事業計画の策定)	()	()	()	
		実 績		事業計画の策定				
	進捗状況説明	(1)景観計画 策定した「祖納地区準景観地区の指定(案)」について、パブリックコメントの実施し、住民からの意見聴取を行った。現在、準景観地区の指定に向けた公聴会の開催等の取り組みを進めている。 (2)古民家再生計画 本計画の核となる利用古民家の候補を抽出したことで次年度以降の活動拠点を明確にし、組織設立のスキーム構築に向けた活動の実現化を進めている。本計画においては、並行して策定された観光振興計画と連携を図りながら、平成23年度にはなかった雇用創出を念頭に、組織の運営という雇用の場を創出し、必要な資金の確保やそのための人材育成を目指すとともに、さらなる雇用の場の確保に向け活動している。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(1)景観計画 ・景観計画の推進には、景観の保全に関する地域住民の理解と協力をより深める必要がある。 (2)古民家再生計画 ・地域に古民家利用ニーズがあるものの、現状では個々の事業者による活動が中心であり、集落あるいは島全体で運営する体制がないことが明確となった。 ・修繕や改築により利用可能な古民家が多く存在することが明確となった一方、空き家となっている古民家の倒壊等による危険性が明らかとなった。 ・与那国島の古民家は、地勢を活かした快適な生活空間が得られる構造・工法が採用されており、資材の多くを島内で確保できることが明らかとなった。 ・全ての資材を島内で確保するには時間がかかり、島外からの調達には輸送による費用と時間の増大が問題であった。	(1)景観計画 ・景観計画の推進は、その指針や景観形成基準の模範的なあり方をより具体的に示す必要がある。 (2)古民家再生計画 ・古民家の再生・利用を具現化するためには、横断的に活動する組織を設立する必要性が示唆された。 ・地域の資源を利用した工法の再現による古民家の再生と地域活性化。 ・再現された工法・構造は、地域の伝統文化として伝承する仕組みづくりを構築。 ・組織の運営にあたって、資金・人材確保の方法を明確にし具現化する。 ・他事業との連携により役割分担等を明確にし、効率的に事業を推進する。
今後の取り組み方針		
(1)景観計画 ・景観計画を推進するため、建築物の建築や工作物の建設などの行為の際の景観形成における配慮事項をまとめた「与那国町景観ガイドライン」を活用し、町民・事業所・行政の共通認識のもとで、適切な運用を行っていく。 (2)古民家再生計画 ・古民家再生や利用を推進するため、地域の住民、専門家、事業者をつないだ活動の核となる中間支援組織「与那国いとなみネットワーク」の運営体制、事業プロセス・内容を整理し、町民自らが運営の担い手として参画しやすい組織にするとともに、島内外の様々な組織・人材の協力が得られる体制を整備する。 ・「与那国いとなみネットワーク」を円滑に運営するため、各種助成金の活用や業務の受託、町内に設置された基金等からの支援方法を検討し運営資金の確保を図ると共に、広く島内外からの人材の確保を図る。 ・「与那国いとなみネットワーク」内に、分野横断的な施策に対応できるワーキングチームを立ち上げ、与那国町との連携・協力を深化させ活動を進める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
与那国町 9,345千円 委託料 9,345千円 株式会社 都市科学政策研究所 2,100千円 株式会社 水圏科学コンサルタント 7,245千円 与那国町風景づくり推進調査にかかる委託業務 与那国町古民家及び空き家再生に係る委託業務 <table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>9,345</td><td>9,345</td><td>7,476</td><td>1,869</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,345	9,345	7,476	1,869	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,345	9,345	7,476	1,869	0										
資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-③	ドゥナン・ファンド設置推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施（予定）年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	離島の特徴を生かした産業振興と新たな発展 Ⅲ-9-(1)		
事業内容	島に残る貴重かつ有望な資源を活用した起業や、地域活動の維持・活性化のために必要な支援を提供する「ドゥナン・ファンド」設置に必要な検討を行なった。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,903					
		(b) 予算現額	3,675					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 228					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	3,675					
	B. 執行済額		3,675					
	うち交付金充当額		2,940					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・減額が228千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	ドゥナン・ファンド構想の策定	目 標	（ ドゥナン・ファンド構想の策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	ドゥナン・ファンド構想の策定					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	基礎調査として、観光などまちづくり活動に取り組む住民によるWGを開催し支援対象となる事業について把握すると共に、「Webアンケート」によるふるさと納税の枠を超えた与那国への支援の可能性把握から「町民活性化に資する活動・事業シーズの把握調査」を行った。また、ファンドの類型別のコミュニティファンド先進事例の整理、ふるさと納税の現状と課題の整理、併せて、ファンドへの出資の可能性等も含めての専門家に対するヒアリングを行い、どうなん・ファンド設置の基本的考え方について整理すると共に、ファンドの運営に必要な中間支援組織の立ち上げ戦略について示し、「どうなん・ファンド基本構想」としてとりまとめた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（ 年度）	
	ドゥナン・ファンド構想の策定	目 標	（ ）	ドゥナン・ファンド構想の策定	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		ドゥナン・ファンド構想の策定				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	本構想は、与那国町民向けの『どうなん町民活動支援ファンド』と、与那国町の産業振興等の資する町内企業の事業支援に向けた『どうなん事業者支援ファンド』をそれぞれ設け、その枠組みの中で地域活性化に資する事業展開の支援を行うと共に、支援対象の審査・選定等の運営責任を担う『どうなんファンド運営評議会』の設置に加え、評議会と連携・協力する中間組織の必要性について述べた。 現在、『どうなんファンド運営評議会』と連携・協力し、地域資源・人材の掘り起しと発信を行っていく中間組織である「与那国いとなみネットワーク」を任意団体として設立し、組織としての体制づくりを行うと共に活動を始めている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・町民活性化に資する活動や事業は既に幾つか行われており、支援のニーズが確認されたが、「古民家再生」等のように雇用の創出に繋がるような事業については、事業化へ向けて資金以外にも支援を必要としていることが明確となった。 ・ファンドの設立に興味や関心を示す一方、実際の支援に関しては具体的な活動や成果など、提案や働きかけ・情報発信の必要が指摘された。 ・特にPRをせず年間300万円もの納税があることは特筆すべきだが、産業振興及び雇用創出に必要な支援や事務局費用及び投資先のサポートに必要な資金規模に対して、ふるさと納税のみでは原資として不十分であることが明確となった。 ・用途を特定しないふるさと納税は「ばんだダウン島基金」へ積立、公益性が高く、地域に資する事業へ自由に使うことが可能な状況である一方、同基金の用途を決めるプロセスや審査組織について、規定されていないことは、寄附者の意向を尊重した地域活性化に資する事業の展開を図る上で問題である。	・どうなん・ファンドへの支援を拡げていくためにどうなん・ファンドを通じた町民活動活性化の取組みを積極的に発信・PRしていく必要性が示唆された。 ・基金の原資を確保するためには、寄付金の活用成果をふるさと納税者に知らせることで、ふるさと納税による与那国町支援の輪を拡げていく必要がある。 ・どうなん・ファンドへの「ばんだダウン島基金」の活用には、ふるさと納税の「使途を決めるための透明性の高い審査プロセスの確立」と「活用結果について納税者へのフィードバック」に加え「使途の対象となる、支援事業の掘り起し」を行う必要がある。 ・雇用創出に繋がる事業は、起業と経営支援、金融商品取引法による監査等の作業が生じ、金融機関等、専門家の支援・協力が必要となる。そこで、金融専門家のアドバイザー支援を受けるとともに、地元金融機関と協力して他の投資事業などと組み合わせ、資金にレバレッジを効かせて、資金支援を実施する必要がある。
今後の取り組み方針		
・平成25年度は、『どうなん町民活動支援ファンド』運営事業をスタートさせるとともに、『どうなん事業者支援ファンド』コーディネート事業を実施し、支援対象とするプロジェクトの具体化を図り、平成26年度からの『どうなん事業者支援ファンド』実施につなげる活動を実施していく。 ・設立された中間支援組織(与那国いとなみネットワーク)を母体として、与那国の情報発信事業にも取り組んでいく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>3,675</td><td>3,675</td><td>2,940</td><td>735</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	3,675	3,675	2,940	735	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
3,675	3,675	2,940	735	0										
与那国町 3,675千円 → 委託料 3,675千円 → 株式会社 水圏科学コン サルタント 3,675千円 (「ダウン・ファンド」設立方策検討に係 る委託業務)														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	9	沖縄関係戸籍の電算化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(5)－イ		
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	戦後処理問題の解決 Ⅲ－8－(1)		
事業内容	安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、沖縄関係戸籍の電算化を実施した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 工事 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,504					
		(b) 予算現額	4,759					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 745					
		(d) 前年度繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	4,759					
	B. 執行済額		4,759					
	うち交付金充当額		3,807					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・減額が745千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	沖縄戸籍の電算化	目 標	(対象戸籍数 861件)	()	()	()		
		実 績	対象戸籍数 861件					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	紙媒体で劣化が著しい沖縄関係戸籍の電算化の実施により、安定的かつ継続的な住民サービスが確保された。また、紙媒体で保存されていた沖縄関係戸籍を電算化することにより、戸籍事務の軽減が図られた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	沖縄戸籍の電算化率	目 標	()	(電算化率 100%)	()	()	()	
		実 績		電算化率 100%				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	沖縄関係戸籍の電算化の実施により、対象戸籍(861件)の電算化が行われ、沖縄関係戸籍の適切な保存と活用が可能な環境が整った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・沖縄関係戸籍(いわゆる福岡戸籍等)を電算化したことにより、紙媒体による保存で劣化が著しかった本戸籍が電算化により、安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍の保存に繋がり、住民サービスの確保が図られた。	今回、沖縄関係戸籍が電算化され、戸籍訂正や潰れ地補償事務の基礎資料として、安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保図って行く。
今後の取り組み方針		
沖縄関係戸籍を電算化したことにより、安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスの提供が可能となったことから、今後の戸籍事務の効率がスムーズに行われるよう住民サービス向上を図っていく。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
与那国町 4,759千円 委託料 4,759千円 株式会社 オーシーシー 4,759千円 沖縄特殊戸籍システム電算化に係る委託業務														
		<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>4,759</td><td>4,759</td><td>3,807</td><td>952</td><td>0</td></tr> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,759	4,759	3,807	952	0		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,759	4,759	3,807	952	0										
資金使途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企業組織、実績、知識等を勘案した上、随意契約方式によりで選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												